

2020年7月刊行開始予定

「近現代史料データベース」

## オンライン版

# 二・二六事件東京陸軍軍法会議録

監修・解説：筒井清忠（帝京大学文学部長）

全二部 ¥600,000 [本体]

\*完全買切型（ご購入後のプラットフォーム利用料、年間維持費用は不要です）

昭和11年2月26日早朝、陸軍の将校約1,400名が斎藤実内大臣や高橋是清大蔵大臣、渡辺錠太郎陸軍教育總監を殺害し、首相官邸、陸相官邸、参謀本部、警視庁ほか、日本の中枢部分を占拠した。二・二六事件により、岡田啓介内閣は総辞職、広田弘毅内閣に替わるなど、政治的、社会的に及ぼした影響は極めて大きく、昭和戦前・戦中期を迎えるうえで、ひとつの転換期ともいえる歴史的事件である。

近代日本史上最大のクーデター未遂事件である二・二六事件の裁判は、戒厳令下、緊急勅令によって設置された東京陸軍軍法会議で、一審即決、弁護人なし、非公開で行われた。17人が死刑、5人が無期禁固刑などになったこの裁判の記録は、長い間「存在しない」と言われてきた。本データベースでは、東京地方検察庁で発見された二・二六事件東京陸軍軍法会議の記録（全67冊）を収録予定である。

この膨大な原史料群は、二・二六事件に関わった者全員に関する捜査、予審、公訴、公判の各段階の書類が網羅されており、事件及び裁判の全貌を解明する可能性を秘めた掛値なしの一級史料群である。東京陸軍軍法会議の主席検察官 匂坂春平の捜査報告をはじめ、起訴された者の聴取書、訊問調書、判決書だけでなく、事件の非直接行動者で不起訴・不起訴処分になった者の予審訊問調書や、証人としての北一輝や薩摩雄次の聴取書等も含まれる。

二・二六事件に関しては、今までも検察側の資料や青年将校による回顧録等が公刊されてきたが、裁判の全貌を明らかにする本資料群によって、より一層、原史料に基づいた実証研究が可能になるだろう。近現代史、政治史、軍事史、社会史はもとより、軍法会議に関するまとまった資料として戦時期の司法行政の面からも注目される。

『二・二六事件とその時代』（ちくま学芸文庫、2006年）や『二・二六事件と青年将校』

（吉川弘文館、2014）、『昭和史講義』（ちくま新書）シリーズの編著者である帝京大学文学部長 筒井清忠教授の監修のもと、詳細な目録、解説を付して刊行する。

本データベースは、「近現代史料データベース」の新規コンテンツとして、既刊の「矢部貞治関係文書」等との横断検索も可能である。

<刊行予定/分売価格>

第一部（2020年7月） 300,000円 [本体]

第二部（2021年5月） 300,000円 [本体]

出版・発売：丸善雄松堂株式会社

二・二六事件についての史料の探求と研究の進展状況については拙著『二・二六事件と青年将校』（吉川弘文館、2014年）巻末に詳しく著したところであるが、多くの人の努力によって、青年将校・襲撃された政府高官・関係者や憲兵・警察等捜査側の多くの記録が公開されてきている。しかし、一番重要で史料的に信頼できるのは軍法会議の記録である。これは長い間発見されず、空襲で焼けたので存在しないと公言する人までいた。ところが、1990年代初めに東京地方検察庁に存在することが確認され、曲折を経て国立公文書館に移管後、今回の出版に至った。

二・二六事件は近代日本史上唯一最大のクーデター事件である。それだけに今日まで多くの風聞が流され、不正確な著作も書かれてきたが、それでも正確な史料研究は着実に積み重ねられて来ており、前掲拙著はそれらをまとめたものである。

しかし、宮城占拠問題、木戸幸一内大臣秘書官長ら天皇周辺の動き、真崎甚三郎大将や石原莞爾大佐など陸軍中枢の立場、海軍の動向、民間の北一輝・西田税との関係、鎮圧軍の向背、ソ連など外国との関係など、いまだ未解明の部分も少なくない。軍法会議の捜査は、これだけのクーデター事件に逢着した軍がその持てる力を全面的に駆使して行ったため綿密・詳細にわたっており、これ以上調べようがないと言っても過言ではないほどである。したがって、今回の公刊によりそれらの解明は画期的に進むであろう。

それでもなお軍が隠蔽しようとしたこともあるとも思われ、それも含めた謎解き・事件の真相の解明はなお残されている。オンライン版の刊行により、本資料群が広く開かれることが今回の出版の最大の意義ともいえるかもしれない。多くの人に利用されることで、昭和史、否近代日本史上最大の謎が解明されていくことを期待したい。

### 【収録資料例】

#### ◆不起訴（310条告知）記録（7冊の内第6号）

- ・小笠原長生聴取書
- ・証人北一輝聴取書
- ・証人薩摩雄次聴取書
- ・磯部浅一告発状
- ・[荒木貞夫他]捜査報告（検察官陸軍法務官 匂坂春平）

#### ◆訴訟記録・不起訴（310条告知）記録（32冊の内第27号）

- ・特高秘二第一七八三号 叛乱事件被疑者一件記録送致ノ件 中橋照夫
- ・中橋照夫聴取書
- ・証人林八郎訊問調書
- ・判決（香田清貞）
- ・判決（安藤輝三）

#### ◆訴訟記録（行動隊29冊の内第24・25・26号合冊）

- ・野戦重砲兵第七連隊 叛乱事変被告人訊問調書
- ・依田虎雄訊問調書
- ・三浦作次訊問調書

\*収録内容は予告なく変更になる場合がございます。

### <近現代史料データベース>

各コンテンツは横断検索可能

オンライン版	矢部貞治関係文書（原本：政策研究大学院大学図書館）	価格 ¥400,000 [本体]
オンライン版	矢部貞治関係文書 補遺（原本：矢部家所蔵、衆議院憲政記念館寄託）	価格 ¥270,000 [本体]
オンライン版	楠田實資料（佐藤栄作官邸文書）	全二部 価格 ¥800,000 [本体]
オンライン版	大平正芳関係文書	価格 ¥400,000 [本体]
オンライン版	三木武夫関係資料	全四部 価格 ¥2,400,000 [本体]
オンライン版	大来佐武郎関係文書	価格 ¥400,000 [本体]
オンライン版	社会政策・エネルギー政策関係資料集	
第一部	社会政策関係資料	価格 ¥450,000 [本体]
オンライン版	我妻栄関係文書（2020年10月リリース）	全三部 価格 ¥1,200,000 [本体]

### <関連資料>

学習院大学史料館所蔵 安田鏡之助関係文書

マイクロフィルム14リール

価格 ¥218,400 [本体]